

MR-S



Netz
TOYOTA

MR-S

本革巻き3本スポークステアリング、本革巻きシフトクプ……。
スポーツティスト漂う装備が、
歓びに満ちたドライビングへと誘う。
心はすでにワインディングロードへとワープしている。
もちろんこのままノーマルに徹するも良し。
カスタマイジングで自分らしさをアピールするも良し。
いずれにしても人目をひく存在には違いない。
スポーツ指向のアクティブな人にこそ相応しい。

主な標準装備

- ・本革巻き3本スポークステアリングホイール
- ・本革巻きシフトレバーノブ(5速M/T車)
- ・マニュアルエアコン
- ・電動リモコンカラードアミラーなど



Photo:MR-S
ボディカラーはブルーマイカ<SM6>。
シート&ドアトリムカラーはレッド。

ここには、自由を遮るものはない。



Photo:MR-S "S EDITION" (5速シーケンシャルM/T車)。ボディカラーはスーパー・レッドV<3P0>。シート&ドアトリムカラーはブラック。MD-CD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ&4スピーカーはメーカーオプション。



(上) 金属製シフトレバーノブ(5速シーケンシャルM/T車)
(下) 本革巻きシフトレバーノブ(5速M/T車)

(上) 3眼シリバーメーター(点灯時)/5速シーケンシャルM/T車
(下) アルミペダル(5速M/T車)

(上) MD-CD一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ
(下) オーディオレス

Utility



ラゲージスペース(写真はラゲージリッド付)



インストルメントセンターボックス



インストルメントサイドボックス(助手席SRS47/48非装着車)



グローブボックス(キー・ロック付)

■各装備の詳しい設定につきましては22ページの主要装備一覧表をご覧ください。

MR-S "V EDITION"

この“V EDITION”専用に用意された
タンカラー(黄褐色)のソフトトップ。
質感の高い本革のシート&ドアトリム。
そして足元には光沢感のあるアルミホイール。
躍動感あふれるスタイリングに、
優雅さや気品をも漂わせている。
ラグジュアリーを身にまとったオープンスポーツ。
MR-Sのもうひとつの表情が、ここにある。

主な標準装備

- ・フロント15×6JJ、リヤ15×6½JJアルミホイール(光沢)
- ・タンカラーソフトトップ
- ・本革シート&ドアトリム表皮
- ・SUSスカッフプレート
- ・メッキリング付ツイーターなど



アクティブな走りに呼応する
ホールド性、サポート性に優れた
スポーツシート。



ボディカラー	内装色	シート&ドアトリムカラー	
		カーフ コーラル	ブラック レッド イエロー
スーパー・ホワイトⅡ 040	カーフ コーラル	ブラック	
シルバー・メタリック 1D0	カーフ コーラル	ブラック	
ブラック 202	カーフ コーラル	ブラック	
スーパー・レッドⅤ 3P0	カーフ コーラル	ブラック	
スーパー・ブライエロー 576	カーフ コーラル	ブラック	
グリーン・マイカ 6S1	カーフ コーラル	ブラック	
ブルー・マイカ 8M6	カーフ コーラル	ブラック	

*ソフトトップカラーはブラック。



お気に入りのカラーリングは、21通りの中にきっとある。

MR-S "S EDITION", MR-S, MR-S "B EDITION"には、アクティブでライトなトーンから深みのあるシックな色合いまで、全7色のボディカラーを設定。室内のシート&ドアトリムは3色ご用意いたしました。トータルで21通りの組み合わせ。この豊富なカラーバリエーションもMR-Sの魅力です。



MR-S "V EDITION"

専用カラーのソフトトップに本革シート。
優雅さに彩られたオープンスポーツ。

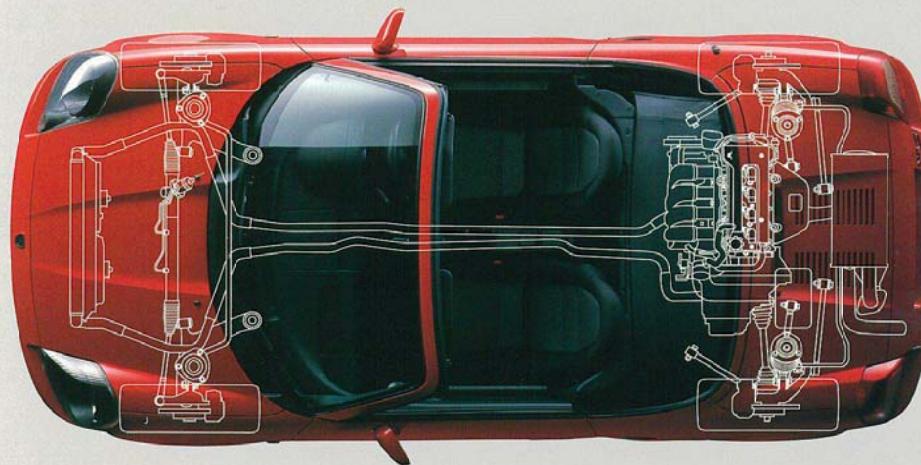
上質なタンカラーで統一したソフトトップ、本革シート&ドアトリム。気品ある味わいを醸し出しています。
ボディカラーは専用外板色のダークグリーンマイカをはじめ、全6色の設定です。



ボディカラー	内装色	シート&ドアトリムカラー	
		カーフ コーラル	タン
スーパー・ホワイトⅡ 040	カーフ コーラル	ブラック	
シルバー・メタリック 1D0	カーフ コーラル	ブラック	
ブラック 202	カーフ コーラル	ブラック	
スーパー・レッドⅤ 3P0	カーフ コーラル	ブラック	
ブルー・マイカ 8M6	カーフ コーラル	ブラック	
ダークグリーン・マイカ (専用外板色) 6R4	カーフ コーラル	ブラック	

*ソフトトップカラーはタン。

Mechanism [技術解説]



ミッドシップレイアウト

F1をはじめとしたレーシングカーに採用されているこのパッケージは、エンジンや燃料タンクをはじめとした重量物がクルマの旋回軸付近に配置できるというメリットがあります。これによりハンドリング特性をニュートラルに近づけ、さらにショートオーバーハングとの相乗効果でヨー慣性モーメントを低減。同時にロングホイールベース化により、車両重心から離れた位置にフロントタイヤを配することで、タイヤがステアした際の旋回角加速度を増大させ、車両の旋回能力を高めています。ミッドシップとロングホイールベース。この二つは優れた回頭性とスタビリティに富んだ走りの実現に大きく貢献しています。またミッドシップレイアウトにより発進・加速時には、重心が駆動輪であるリヤタイヤ付近に移動することで、パワーロスを抑え、確実なトラクションを獲得。さらにブレーキング時には、荷重が前後輪へバランスよくかかることで優れた制動力を発揮するなど、ミッドシップレイアウトは、高次元の走行性能を追求するうえでさまざまな効果をもたらしています。

シーケンシャルマニュアルトランミッション

M/T車のクラッチ・シフト・アクセル操作を、油圧アクチュエータ、電子制御スロットル(ETCS-i)によって最適にコントロールする、国内初のクラッチペダルレス5速シーケンシャルマニュアルトランミッション。M/T車ならではのシャープでダイレクトなアクセル応答性を確保しつつ、高度なテクニックを要する変速時のクラッチ・シフト・アクセル操作を電子制御化しています。シフトパターンはモータースポーツにも使用されているシーケンシャルタイプを採用しました。これによりチェンジレバーを十側(シフトアップ)あるいは一側(シフトダウン)にシフトするだけのシンプルな操作で変速を可能にしました。変速時には、車速とシフトポジションに応じたエンジン回転数をシステムが的確にコントロールします。クラッチペダルレスにシーケンシャルシフトを加えることにより、変速時間を短縮するとともに、より高次元でスポーティなシフトワークを容易に実現できます。なおシフトチェンジは、ステアリングホイールのスローク部に配したシフトスイッチでも可能としました。ステアリングから手を離すことなく、指先での操作により、ドライバーの動きを最小限に抑え、ハンドリングに専念できるようにしています。

*A/T限定免許でも運転可能ですが、A/Tのようなクリープ現象はなく、シフトアップ・シフトダウン操作が必要です。
また、シフトアップの際には、少しアクセルを緩めることでよりスムーズな変速が可能です。

*M/T、A/Tとは異なり、その他にもご注意いただきたい項目がありますので、詳しくは、販売店にご相談ください。



車両を旋回させる角加速度は、タイヤがステアした時に生じるコーナリングフォースと車両重心からフロントタイヤまでの距離の積で表されます。MR-Sはロングホイールベース化によってその旋回角加速度を増大させ、高い旋回能力を実現しています。
CF: コーナリングフォース
ω: 旋回角加速度
LF: 車両重心からフロントタイヤまでの距離



5速マニュアルトランミッション

加・減速時のシフトワークもスポーツドライビングの醍醐味のひとつ。ショートストローク化により手首のかえしだけで、軽快なシフトチェンジを可能にしました。

軽量・高剛性ボディ

俊敏でコントローラブルな走りの実現にボディの軽量化は欠かせない要件のひとつ。しかも旋回時や制動時などに生じる反力に耐えうる強靭さが求められます。ただボディの補強には車両重量の増加を招くことを配慮しなければなりません。そこでMR-Sは、クーペボディをベースにモディファイするオープンカーとは異なり、オープンボディ専用としてゼロから開発。しかもボディを形づくる主要骨格部材のストレー化やフロントサイドメンバ間およびリヤサスペンションタワー間の補強材による結合など、軽量化を考慮しながら効率の良い部材配置や各部の結合部強化を実施しました。また高張力剛板の多用やサブフレームを骨格部材として構成させるなど、高剛性と軽量化の両立を果たしています。

エアロダイナミクス

操縦安定性や加速性能など、さまざまな性能に影響を及ぼす空力特性。そのため開発当初から空力解析や風洞実験などをもとに、最適なフォルムを模索。さらに床下の空気の流れを制御するアンダーカバーの設置など、細部に至るまで徹底した空力性能の向上を図っています。

BEAMS 1ZZ-FE VVT-i

エンジン回転数・アクセル開度などの運転状況に応じて、吸気バルブの開閉時期を最適制御する可変バルブタイミング機構(VVT-i)を採用したこのユニットは、徹底した軽量化を図った車両重量と相まって、パワーウエイトレシオは9.3kg/kW(6.9kg/PS)をマーク。低・中速域でのスムーズな吹き上がりと鋭い加速感を生み出します。パワーに振り回されることなくフルに使いこなせる扱いやすさを秘めつつ、しかも燃費は14.2km/ℓ(10-15モード走行)という高水準の数値を達成。同時に平成12年基準排出ガス25%低減レベル*を達成するなど、環境保全や快適性をも視野に入れた新世代のパワーユニットです。*低排出ガス認定制度(国土交通省認定制度)

マクファーソンストラットサスペンション

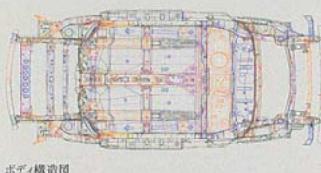
フロントにLアーム式、リヤにデュアルリンク式のマクファーソンストラット。きめ細かなセッティングが要求されるミッドシップレイアウトに、軽快な走りを実現するにふさわしい資質を秘めています。入念なセッティングやチューニング、シミュレーション、データ解析、テスト走行。こうしたさまざまなプロセスを経て得たものは、高度な直進安定性や旋回性能とともにハンドリングに素早く応答する軽快感。そして限界付近でのコントロール性を確保しつつ、同時にフラットな乗り心地をも生んでいます。

ヘリカルL.S.D.

トルク応感型で強いトラクションが得られ、アクセル操作に対する応答性が高いため、スポーティな走行が可能です。また旋回時では内輪のスピンドルを抑え、外輪の駆動力を高めてアンダーステアを低減。最適な駆動力を確保すると同時に、加减速時の安定性を向上させます。

4輪ベンチレーテッドディスクブレーキ

優れた耐フェード性、耐摩耗性を備え、また軽い踏力で十分な制動性能を発揮すると同時に、制動初期の効きと高G領域のコントロール性を高めました。さらにペダルストロークを短縮し、取付部剛性を確保することで良好なブレーキフィールを追求しています。



displacement: 1.794 ℥
maximum power: NET 103kW(140PS)/6,400r.p.m.
maximum torque: NET 171N·m(74kgm)/4,400r.p.m.

「オープン・スポーツドライビング」を始めると自然の大切さが分かってくる。

ECOLOGY

さわやかな風を、まばゆい光を全身で感じることができる遊び。オープン・スポーツドライビングはゆたかな自然の大切さを教えてくれます。心地よい美しい環境の中で、MR-Sの気持ちよい走りをいつまでも楽しむために。トヨタは「トータルクリーン」の理念のもと、クルマのライフサイクルである「開発・生産・使用・廃棄」のすべての過程の中で、人と地球にやさしいクルマづくりを進めています。ここではその取り組みの一端をご紹介します。

環境マネジメントシステムISO14001^{1)*}を取得。

トヨタは生産分野はもちろん、1998年には設計と開発の各分野において、国内自動車メーカーとして初めてISO14001の認証を取得。MR-Sもこのマネジメントシステムに基づいて、さまざまな角度から環境保全に取り組んでいます。

*1 ISO14001:国際標準化機構(ISO)が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。

地球温暖化を防ぐために。

燃費向上によるCO₂排出量の低減。地球温暖化の大きな要因とされるCO₂(二酸化炭素)は、燃費を向上させることでその排出量を低減することができます。そのためトヨタでは、エンジン効率の向上、動力伝達装置の見直し、走行抵抗の低減、軽量化など、総合的な見地からアプローチを実施し、燃費の向上を図っています。MR-Sではそうした取り組みの中で特に新世代エンジン1ZZ-FE、VVT-i(連続可変バルブタイミング)を採用しています。

エアコンの効率化によるフロン削減。エアコンの冷媒には、オゾン層を破壊しないフロンHFC134-aへの代替を1993年末に完了しています。しかしそのHFC134-aも地球温暖化に影響があるとされており、エアコンの高効率化により、冷媒の使用量を33%削減(当社従来車比)しています。

クリーンな都市環境のために。

MR-Sに搭載されている1ZZ-FEエンジンは、平成12年排出ガス規制値からさらにNOx(窒素酸化物)、HC(炭化水素)を25%低減した「平成12年基準排出ガス25%低減レベル^{2)*2}」の基準をクリア^{3)*3}しています。

*2:低排出ガス認定制度(国土交通省認定制度)

*3:七都県市低公害車指定制度(平成11年4月改正)の排出ガス基準もクリアしています(社内評価)。



クルマとしての役目を終えてからのことも配慮。

使命を終えたクルマは、金属類を中心にリサイクルされています。トヨタはこのリサイクル性をさらに向上させるために、バンパーや内装樹脂部品に、リサイクル性に優れた素材TSOP^{4)*4}を積極的に採用。また樹脂部品、ゴム部品への材質マーキング実施や部品締結点数の削減など、解体性の向上にも配慮しています。さらにMR-Sでは、ラジエーター、ヒーターコア、ワイパー、ハーネスの被覆等には鉛を使用しない部品への切り替えを推進。その結果、「新型車の鉛の使用量を2000年末までに1996年比で1/2以下に低減する」という目標^{5)*5}を達成しています。

*4:TSOP:Toyota Super Olefin Polymer

*5:経済産業省リサイクルインシアティブで設定されている業界目標。

●23ページに「トヨタMR-S環境仕様」を掲載しておりますので併せてご覧ください。



Dealer's Option

“Fun Sports Package”

- エアロバンパー[交換]
- サイドマッドガード
- リヤバンパースポイラー
- リヤスポイラー
- フォグランプ[エアロバンパー用]



“Elegant Sports Package”

- フロントスポイラー
- サイドマッドガード
- リヤバンパースポイラー
- クリアサイドターンランプ
- ストライプテープ[タイプ1、ロゴ]



“Trad Sports Package”

- ルームミラーカバー[アルミ]
- フロントピラーガーニッシュ[メキキ]
- リヤバンパーアロア[メキキ]
- オーバーフェンダー
- サイエインテークガーニッシュ[メキキ]
- メキキドアミラー[フレーム付]



ディッチャブルトップ



- “Fun Sports Package”、“Elegant Sports Package”、“Trad Sports Package”はグレード名ではありません。
●販売店装着オプションには、車両グレードオプション以上で装着できない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。
●上記の各Package中に装着されている部品は単独購入が可能です。詳しくは販売店におたずねください。
●この車に数多くの販売店装着オプションをご用意しております。詳しくはMR-S品パンフレットをご覧ください。
●エアバーパーを装着した場合、縁石など段差によっては前面などを干渉する場合があります。あらかじめご了承ください。



いろんなクルマと比較もできる。詳しくは!
www.toyota.co.jp/Mrs

スピードはひかえめに。シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

■このカタログに関するお問い合わせは、お近くのMR-S取り扱い販売店または下記のお客様相談センターへ。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター 全国共通・フリーフォン 0070-800-778899 所在地 〒461-8711 名古屋市東区泉1丁目23の22 オープン時間/月曜～金曜(除く祝祭日)9:00～12:00 13:00～17:00

■本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります(このカタログの内容は'01年6月現在のもの)。ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。